

3類型	鉦工業品	通巻番号	4 - 21 - 004
地域資源名	三州瓦	認定日	平成21年7月10日
地域	碧南市、高浜市、刈谷市、半田市、岡崎市、安城市、西尾市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：住宅用傾斜屋根の緑化を実現したわが国初の環境瓦と太陽光発電システム瓦を組み合わせた瓦関連材の製造販売事業

会社名：新東株式会社

所在地：愛知県高浜市論地町4 - 7 - 2

連絡先：TEL：0566 - 53 - 2631
FAX：0566 - 53 - 2765

H P：http://www.shintokawara.co.jp/

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は三州瓦の製造において「オンリーワン」を基本理念とし、環境に配慮した製品の開発を進めてきた。
- ・その中でローメンテナンス、軽量な緑化を実現させるため苔に着目し、瓦と苔の一体化により効率よく傾斜屋根に緑化させることができる「環境瓦」を製造し、愛知万博、洞爺湖サミット会場にも採用された実績がある。
- ・本事業では、以前より開発製造して来た「太陽光発電システム瓦」と「環境瓦」をハイブリッド化して屋根材に使用することで発電と散水を融合させたところが新たな活用の視点となっている。(特許公開出願中)



【環境瓦を使った事例】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・瓦自体は差別化が難しいなか、環境に配慮した商品であることをアピールできるとともに、ヒートアイランド減少の緩和、省エネルギー効果も期待できるところに競争力を持つ。

市場性

- ・太陽光発電システム・屋上緑化への補助施策など、環境に配慮した住設備に注目が集まっていることから、これからの個人住宅にも市場が開ける可能性があるかと判断している。

販路

- ・販路としては、全国の屋根問屋・工事店またハウスメーカー・地域ビルダー等への販路を確立することを目指し、各エリアごとの環境発電に関する勉強会や知名度向上を目的とした展示会などに出展する。



【太陽光発電システム瓦を使った事例】

地域における関係事業者等との連携

- ・同社は愛知県陶器瓦工業組合に参画しており、陶器瓦の普及につとめる活動を行っている。また、地域同業者とは協力関係を築き、生産の委託や原材料の購入を行っている。